

議員の主な役割

年間156議案を議決 (令和2年)

1 意思決定

本会議において、市議会に届いた全ての案件に対し、市民の代表として各議員一人一人が表決を行い、意思決定する役割があります。

▶議案・審査結果は7ページ、賛否が分かれた議案は8ページ



予算委員会の年間審査時間数は3,799分 (令和2年)



2 チェック

各議員が所属する委員会を通し、付託をされた議案や請願・陳情に対し審査を行い、チェックする役割があります。

▶委員会レポートは4～6ページ

年間177件の一般質問 (令和2年)

3 提案

一般質問などを通し、各議員が執行機関に対し直接「〇〇はどうするのか?」「〇〇すべきではないのか?」など質疑・提案する役割があります。

▶一般質問は9～15ページ



市民の皆様とともに ~How To 議会~

- ▶ 議会の情報をキャッチしてください
市議会ホームページ、市議会公式Facebook、FMきりしま、市議会YouTube (一般質問)
- ▶ お気軽にご相談ください
議員一覧は市議会ホームページにあります。
- ▶ 本会議や委員会の日程は、カレンダーをご覧ください ▶16ページ
ぜひ傍聴にお越しください ▶16ページ
- ▶ 「議員と語り合い」にご参加ください ▶8ページ



特集 Special edition

躍動感ある市議会へ

昨年11月14日は、任期満了に伴う市長選挙と市議会議員選挙が行われました。

市長選挙では4候補者が、市議会議員選挙では定数26名に対し、37候補者が立候補した選挙となり、全体投票率は前回 (2017年) に比べ、1.6%増となりました。

多くの方が市政に問題意識を持ち、より良いまちづくりを目指した表れではないでしょうか。

市民一人一人の声が市政に反映されるためには、ここからの4年間を通し、さらに躍動感ある市議会となることが何よりも大切です。そこで投票率を、前回 (2017年) と比較しつつ分析してみました。

年代別投票率は どうだった?

霧島市の抽出調査投票区 (第16投票区) の変化を見ていきましょう。20代の投票率は増加の兆しが見えます。若い候補者が多く立候補したことも、要因の一つではないでしょうか。また、70代の投票率は減少しており、コロナ禍の影響が、少なからずあるようです。

ただ、20代の投票率は増加したものの、依然として70代の半分以下であり、若者の投票率の向上は大きな課題です。そして見逃せないことは、市民の半数弱が選挙を棄権している現状です。日常の市政と市民の距離感の改善や、投票しやすい環境づくり、市政に対する市民意識の向上が問われています。

霧島市議会では、より身近な広報広聴活動を行うとともに、投票環境の改善を求めています。次ページには、市民から選ばれた議員がどのような活動をしているのかを掲載しました。ぜひ知っていただき、市民一人一人が「私たちのまち」と思える声の届く市議会を、一緒につくっていきましょう。

年代別投票率

